

千葉市では木育おもちゃを市内保育所等に配布しています。

木のぬくもりを感じ森や木への親しみを育む



木育おもちゃ(積み木) 製作:千葉市立高等特別支援学校木工班

使う

# 木育 MOKUIKU

植える

伐採する

育てる

木育とは、木材や木製品とふれあい、親しみや木の文化への理解を深めて木材の良さや利用の意義を学んでもらう教育活動です。千葉市では、こども達が木に親しめるよう、高等特別支援学校の生徒さんが製作した木育おもちゃを市内の保育所等に配布しています。材料として、森林整備で搬出された間伐材<sup>\*</sup>や風倒木等を含む千葉県産木材を使用し、森林の整備に役立てています。

<sup>\*</sup>間伐とは、樹木の一部を伐採し、残った木の成長を促す作業です。間伐材はその際に生じた材木を指します。

木の循環で「みらいにつながるサイクル」を



## 地球温暖化の緩和

大気中の二酸化炭素を吸収し、酸素を大気中に送り出す。炭素は貯蔵される。

森林の持つ多くの働きを発揮させるためにも、木材を使うことは大切なことです。人工林などで木材を伐採し使うとともに、植えて育てることで、未来につながる森林の持続的なサイクルが保たれるのです。



環境保全課 温暖化対策室



## 洪水の緩和及び水質の浄化

土壌にしみこんだ雨水を一時的に蓄え、徐々に河川に送り出す。